

日本弁理士会主催セミナー 「農林水産省知的財産戦略2030から読み解く弁理士の役割（集合/Zoomウェビナー）」開催のご案内

2025年6月に公表された「農林水産省知的財産戦略2030」を通じて、農水知財に取り組んでいる又はこれから取り組もうと考えている弁理士（会員）及び会員外の農林水産関係者に、国が重点分野としている事項を認識してもらう機会を提供させていただくとともに、弁理士側から見た農林水産省知的財産戦略2030の着目点についても説明させていただきます。

講演1では、丸山修弁理士（農林水産知財対応委員会委員）が、農林水産知財戦略2025のフォローアップを踏まえた2030戦略への見直しのポイントを解説します。品種・GI・ブランド・データを束ねて活用する「農水知財マネジメント人材」に求められる役割や、現場と専門家の連携の方向性もコンパクトに紹介します。

講演2では、農林水産省 輸出・国際局 知的財産課 知的財産戦略班 伊坂有喜氏より、農林水産・食品分野における知的財産の重要性が高まる中、更なる知的財産の保護・活用を推進していくための農林水産省における施策や取組をご紹介いただきます。

クロストークでは、講演1と講演2の講演者により講演内容を踏まえたディスカッションを行います。各講演で出たキーワードを掘り下げ、特に「農水知財マネジメント人材」の発掘／育成／拡張についてディスカッションを行います。

講演3では、小沼良平弁理士（農林水産知財対応委員会委員）が、農林水産省知的財産戦略2030の柱の一つである「スマート農業」について、営農者へのヒアリングとスマート農業技術の事例紹介により、近時のスマート農業及びその技術的側面を説明します。

■概要

日時：2026年2月3日(火) 10:30～12:30(休憩なし)

定員：集合60名（会員40名・一般20名）、ライブ配信500名（会員400名・一般100名）

※一般参加者は先着順

会場：弁理士会館2階AB会議室 東京都千代田区霞が関3-4-2/Zoom

会費：無料

対象：どなたでもご参加いただけます。

■内容

講演1：「農林水産知財戦略2025から2030へ

—フォローアップと次世代知財マネジメント人材の役割—」

講師：日本弁理士会 農林水産知財対応委員会 副委員長 弁理士 丸山 修 氏

講演 2：「農林水産分野における知財の重要性と今後の方向」

講師：農林水産省 輸出・国際局 知的財産課 知的財産戦略班 伊坂 有喜 氏

クロストーク：講演 1 と 2 の内容について

講演 3：「ヒアリングに基づくスマート農業及び最新のスマート農業技術の紹介」

講師：日本弁理士会 農林水産知財対応委員会 副委員長 弁理士 小沼 良平 氏

■申込

以下の URL からお申し込みください。

※集合または Zoom ウェビナーのいずれかにお申し込みください（同時申込不可）。

※申込期限後に参加方法を変更することはできません。

※会員は弁理士研修システムから申し込みください。

<申込期間>2025 年 12 月 16 日(火) 7:00 ~ 2026 年 1 月 27 日(火) 23:59

<https://www.benrishi-navi.com/f/?id=a9596&type=1>

[問合先]事務局 業務国際課 農林水産知財対応委員会担当

TEL 03-3519-2703 MAIL gyoumukokusai@jpaa.or.jp